

(別紙5)

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 26-2-024

補助事業名 平成26年度 障害のある人が幸せに暮らせる社会を創る活動補助事業

補助事業者名 NPO法人全国ことばを育む会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

ことばに特別なニーズをもつ子どもたちとその家族に対して、地域社会での自立と社会参加を促すことを支援するとともに、全国各地の親の会及び関係諸団体や有志との緊密な協働のもとに、ノーマライゼーション社会の実現に寄与することを目的としている。

(2) 実施内容 (<http://b.zkotoba.jp/>)

① 心身障害児対策のための無料検診

ことばの悩みや発達に不安のある幼児・児童とその親を対象に2種類の相談事業を実施。今年度はことばの教室がない地域での相談事業も実施し、具体的な手立てがわかったことで子どもの支援につながり、また、ことばの教室の設置のニーズが高いことも実証され、地域の親の会の活動に勢いがつきました。

JKAの補助をいただいたおかげと感謝の声が届いている。



「子どもも保護者も安心して相談」



「電話による相談も活用」

② 集団キャンプ事業

コミュニケーションや発達に悩みや不安のある子どもたちが、指導員やスタッフの適切な支援を受けながら様々な体験や行動を通して達成感を感じることができた。また、その我が子の姿をみて、今後の家庭での子育ての在り方を、父親が考え直すきっかけにもなった。

さらに保育者に我が子を委ね、親が心置きなく講演会や懇親会に参加でき、本音で語り合い、我が子の進路や就労に向けての学びができた。

(別紙5)



「たくさんの親子が元気に集合」



「お父さんも大活躍」

③ 指導者養成研修会の開催

発達障害の傾向のある会員がふえている現状から、発達障害の当事者（成人）を講師に招いたり、大学における学修・生活支援の現状と課題をテーマに研修会を開催したりした。

また、中高生をもつ会員も増加しているため、就労に関する情報をテーマにして研修会も開催。幅の広い子育ての悩みに対応できるリーダー的な役割をもつ会員の育成のための研修会となった。



「具体的な事例に基づく講演」



「グループごとの活発な話し合い」

2 予想される事業実施効果

コミュニケーションに不安や悩みを持つ親子は少子化に関わらず、全国各地とも増加傾向にあり、身近に相談のできる場として全国ことばを育む会各支部の役割は大きいものがある。

療育相談では子どもの個別支援を行い、発音の改善・吃音児やその家族の支え・難聴児のきこえの補償等具体的なアドバイスを専門家が行った。

キャンプ事業では、親子の結びつきが強まり、親同士の密接な交流ができ「(障害のある)子育ての孤立感」をなくすことができた。周囲の理解がまだ十分ではない発達障害についても、指導者養成研修会での学習により、リーダー的役割の会員を育て会員同士の相互理解や共感に結びつけることができた。

JK Aの補助をいただいた各事業実施により、「障害のある人が幸せに暮らせる社会を作る」ことに、小さなあゆみだが寄与できたと考える。

(別紙5)

3 本事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

該当無し

(2) (1) 以外で当事業において作成したもの

『ことば』年4回発行 NO.274~NO.277 (<http://b.zkotoba.jp/?cat=10>)

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： NPO法人全国ことばを育む会（ゼンコクコトバラハグクムカイ）

住 所： 〒105-0012

東京都港区芝大門1-10-1 全国たばこビル6F

代 表 者： 理事長 加藤 碩（カトウ ヒロシ）

担 当 部 署： 事務局（ジムキョク）

担 当 者 名： 池田 幸男（イケダ ユキオ）

電 話 番 号： 03-6459-0989

F A X： 03-6459-0989

E - m a i l： npo-hagukumukai5108@waltz.ocn.ne.jp

U R L： <http://b.zkotoba.jp/>